はじめまして。この度、台湾の国際交流員として着任いたしました方聖霖（ハウ・セイリン）と申します。

これまで、多くの台湾の先輩方や日本の皆さまとの素晴らしいご縁に恵まれ、日台学生交流をはじめ、民間団体との協力やスポーツ大会、政府間及び企業間の連携など、さまざまな形で日台交流の現場に携わってまいりました。その度に、異なる背景を持つ人々をつなぐ国際交流の意義と大切さを実感いたしました。

大学では中国文学を専攻し、仏教学や老荘思想などを学ぶとともに、漢詩の創作にも取り組みました。そのため、中国文学には自信があります。また、大学院では国際関係学の修士課程を修了し、アジアにおける歴史認識や日中外交史、華僑の現状などについて幅広く学びました。

趣味としては、学生時代にはアーチェリー部に所属したほか、小唄三味線や尺八もこれまで約十年にわたりお稽古を続けております。未熟ではございますが、もし同じような趣味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひお声がけください。

青森県とのご縁は、日本に留学していた6年前に始まりました。演歌が好きな私は知人から「津軽海峡・冬景色」の記念碑が青森県にあると聞き、「思い立ったが吉日」と翌日の飛行機で青森空港へ飛びました。そして記念碑を見たあと、青森の名物料理も食べずにそのまま東京へ戻るといふ、今思えば大変もったいないことをしてしまいました。

その時の心残りを原動力に、「今度こそ心残りのないよう青森県の魅力を深く知りたい」という思いを胸に青森県で働くことを決意しました。

今後は、これまでの経験を活かしながら、青森県の風土や文化、地域の取り組みを幅広く学び、相互理解と友好の深化にわずかでも力になれるよう全力で努めてまいります。

これから、どうぞよろしく願いいたします。

令和7年4月1日
方聖霖